

SCOT × 吉祥寺シアター

鈴木忠志トーク+連続討議

「＜私たち＞は必要とされるのか?!」

—— 現代社会から「未来」を透視する

鈴木忠志と5人の論客・芸術家が＜連続討議＞

黒船の来航によって「西洋文明」への扉が大きく開かれて以来、わが「ニッポン」は、近代化への道を一直線に走り出した。それから 150 年、「ニッポン」は、「1945.8.15」と「2011.3.11」という日付をもつ、二つの「敗戦」を体験した。それはまた、「富国強兵＝高度経済成長」という「西洋近代化路線」そのものの「敗戦」でもあったのではないか。

いま「ニッポン」は、「成長・拡大」路線から「安定・均衡」路線への一大転換を迫られており、それは同時に、国家・社会のかたちそのものを、根底から問い直すことを要請されている、といってよいだろう。

では、こうした一大転換期にあって、「芸術家」や「知識人」の役割とは一体何か？そもそも「西洋近代」を出自にもつ「芸術家」、「知識人」という言葉が死語となって久しい今日、その存在は、「ニッポン」という国家・社会と同様に、根底から問い直されねばならないだろう。

二度にわたる「敗戦」への過程で、「芸術家」や「知識人」が担った活動を点検し、あわせて、経済のグローバル化が「社会」と「文化」にもたらしている、亀裂と歪みを、世界的視野から再検証しながら、鈴木忠志が5人のゲストに、どこにその存在意義があるのか、すなわち、「＜私たち＞は必要とされるのか?!」を問う、連続討議。

山村武善

ゲスト

渡辺保、金森穰、菅孝行、大澤真幸、水野和夫

企画・構成 山村武善

SCOT (Suzuki Company of Tokyo) が
雪の利賀から吉祥寺へ

鈴木忠志トーク+連続討議

「＜私たち＞は必要とされるのか?!」

12月 9日(日) 鈴木忠志トーク

12月 10日(月) 連続対談①・ゲスト＝渡辺保(伝統芸能評論)

12月 11日(火) 連続対談②・ゲスト＝金森稔(現代ダンス)

12月 12日(水) 連続対談③・ゲスト＝菅孝行(現代演劇評論)

12月 16日(日) 鈴木忠志トーク

12月 19日(水) 連続対談④・ゲスト＝大澤真幸(社会評論)

12月 20日(木) 連続対談⑤・ゲスト＝水野和夫(経済評論)

12月 23日(日) 鈴木忠志トーク

開始時間

鈴木忠志トーク／『シンデレラからサド侯爵夫人へ』公演終了後
連続対談／19:00

入場料

鈴木忠志トーク／公演のチケットをお持ちの方のみ、お聴きいただけます。
連続対談／無料(要予約、SCOTまたは吉祥寺シアターにお電話でお申し込みください)

チケット予約

SCOT／03-6408-6811

吉祥寺シアター／0422-22-0911

ICHIOJOI THEATRE

吉祥寺シアター

0422-22-0911 武蔵野市吉祥寺本町1-33-22

●JR中央線・京王井の頭線吉祥寺駅北口徒歩5分
<http://www.musashino-culture.or.jp>

お問合せ／SCOT 03-3445-8013 主催／SCOT、(公財)武蔵野文化事業団
共催／武蔵野市、(公財)舞台芸術財団演劇人会議

【公演情報】

大人のための児童劇『シンデレラからサド侯爵夫人へ(一幕)』

鈴木忠志演出 グリム原作・三島由紀夫作

12月8日(土)、9日(日)、13日(木)、14日(金)、15日(土)、16日(日)、18日(火)、21日(金)、
22日(土)※、23日(日)、24日(月・祝)

土・日・祝＝15:00開演、平日＝19:00開演 ※22日は武蔵野市・南砺市民特別貸切公演(17:00開演)

入場料

5,000円

武蔵野市民(在勤、在学含む)、武蔵野文化事業団アルテ友の会会員／4,500円